

平成28年度 福井県立金津高等学校 学校関係者評価書

協議題

- ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策、向上策が適切かどうか。
- ・その他

御意見を伺った方々

学校関係者評価委員会：あわら市教育長（本校育成会代表）、芦原中学校長、金津中学校長
地域住民代表、同窓会長、PTA会長、PTA副会長、学校長

御意見

◇学習指導・地域連携（中高一貫）

- ・授業の基本的な内容を理解できていない生徒が約100名いる。考査前の学習会や補習などの取組みを続けていくとともに、いかにして学習時間を確保するかを考えていかなければならない。
- ・中学校の生徒数の減少に伴い、中高一貫クラスの定員確保が難しくなっているが、来年度については定員を超えた希望者数であった。合宿で卒業生の話を聞く機会を設けたり、土曜講座で大学教授や県外先進校の教諭を招いて講義・演習をしたりするなど、各行事のレベルアップの成果であると考えられる。高校側の丁寧な取組みに感謝している。
- ・中高一貫教育において、魅力あるクラスづくりを望む。また、中高一貫教育における様々な取組みを積極的に広報する必要がある。中学生およびその保護者に対して、大いにその良さを訴えかけてほしい。

◇生徒指導

- ・中学生でも夜遅くまでスマートフォンを使っている生徒が多い。高校生はどうなっているのか、その使用状況を把握し、使用のルールや有効な活用方法を自ら考えさせる必要がある。
- ・商業科がなくなり、生徒数減に伴い、部活動等にやや元気がなくなった感がある。部活動だけでなく、生徒の活動全体にもっと活気を持たせる働きかけが望まれる。

◇進路指導

- ・進路だよりの発行などを行っているものの、2年生の進路への意識が例年よりも低くなった。学年集会等をより充実させるなど、意識の向上を図る工夫が必要である。

◇保健管理

- ・美化意識の家庭への波及効果を見るための、家庭での整理整頓に対する保護者の評価で目標指数に達していないが、学校を離れて家庭での効果までを上げるのは容易ではなく、アンケートで計るものではないかもしれない。ただ、美化意識の向上を目指した指導は引き続き力を入れてほしい。

◇開かれた学校づくり

- ・PTA活動の広報について昨年度よりも数値は上昇したが、その数値に満足せずに、全保護者が活動内容の理解を深めていけるような取組みを望む。その一つとして、ホームページの内容の充実を目指してほしい。また、ホームページは堅苦しくなく、気軽に読めてわかりやすい内容が良い。

◇図書指導

- ・朝読書による目に見える効果は少ないかもしれないが、本を読むという習慣を身につける上では、大変意義のある活動である。

◇全体（総括）

- ・学校評価書の成果と課題およびそれらを踏まえた今後の改善策、向上策は適切である。
- ・生徒が学習や学校行事等に積極的に取り組んでおり、高く評価できる。また、中高一貫教育に係る取組みも大変充実したものとなっていた。ただ、中学生、中学生の保護者、そして在校生の保護者へのそれらの成果の発信は、まだまだ不十分だと思われる。広報により力を入れるべきである。

◇学校関係者評価を踏まえた今後について

- ・今年度の学校評価の結果および学校関係者評価に基づき今後の課題について改善・工夫を行い、次年度のスクールプラン、教育方針・教育目標に活かしていく。

